



安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE 561 PIPE SEALANT STICK known as Loctite(R)
PST(R)561 with PTFE

SDS No. : 153640
V001.3

改訂: 12. 09. 2016

発行日: 29. 09. 2016

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 525718
製品名 : LOCTITE 561 PIPE SEALANT STICK known as Loctite(R) PST(R)561 with PTFE

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

| 危険有害性クラス | 危険有害性区分 |
|--------------|---------|
| 皮膚感作性 | 区分 1 |
| 水生環境有害性(長期間) | 区分 3 |

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

安全対策 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 防護手袋を着用する。

応急措置: P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物 : 混合物

危険有害成分及び濃度

| 成分 | wt% |
|--|-----------------|
| チキソトロピー性添加物 | >= 1 - < 10 % |
| フルオロポリマー | >= 1 - < 10 % |
| エチレングリコール | >= 1 - < 10 % |
| 酸化チタン | >= 1 - < 10 % |
| ポリエチレン | >= 1 - < 10 % |
| サッカリン | >= 1 - < 10 % |
| ポリグリコールジオクタノエート | >= 30 - <= 40 % |
| ポリグリコールジメタクリレート | >= 20 - <= 30 % |
| 芳香族メタクリレートエステル | >= 10 - <= 20 % |
| シリカ | >= 1 - <= 10 % |
| クメン | >= 0.1 - <= 1 % |
| キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) | >= 0.1 - <= 1 % |

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合 :** 汚染された衣類や靴を脱ぐこと
水と石けんで洗うこと。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
再使用する場合には洗濯をすること
- 眼に入った場合 :** 多量の水で洗うこと、できるならばぬるま湯で最低でも15分間、まぶたをおさえて眼を開けた状態で洗うこと。
医師の診察を受けること
- 飲み込んだ場合 :** 被災者を安静にしておくこと。
無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること
- 吸入した場合 :** 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。

火災時の分解物質: 炭素酸化物
窒素酸化物
硫黄酸化物
刺激性の有機蒸気。

保護具: 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 皮膚および眼への接触を避けること。

環境に対する注意事項 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

除去方法: 漏えい物はすくい取り、廃棄のために容器に密閉しておくこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 適切な換気装置下で使用すること。
眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。

保管: 原容器に入れたまま、8-21° Cで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

| 成分 | 日本産業衛生学会 | ACGIH |
|--------|--|---|
| ポリエチレン | 2 mg/m ³ TWA 4 mg/m ³ TWA 8 mg/m ³ TWA 1 mg/m ³ TWA | 10 mg/m ³ TWA 3 mg/m ³ TWA |
| 酸化チタン | 4 mg/m ³ TWA 1 mg/m ³ TWA 0.3 mg/m ³ TWA | 10 mg/m ³ TWA |

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

眼の保護具: 安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 適切な手の保護具を使用すること。
適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状: ワックス
色: オフホワイト
臭い: マイルド
pH: 該当なし
融点/凝固点: データ無し
沸点: > 149 ° C (> 300.2 ° F)
引火点: 該当なし
蒸気圧: < 1300 Pa

蒸気密度: データ無し
比重: 1.1394
n-オクタノール/水分配係数: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 強酸と反応する。
強酸化剤と反応する。

混触危険物質: データなし。

避けるべき条件 “取扱いと保存”（セクション7）と“不適合性”（セクション10）を参照。

危険有害な分解生成物: 炭素酸化物
毒性フッ素化合物
刺激性の有機蒸気。

1 1. 有害性情報

| 成分 | 危険有害性クラス | 危険有害性区分 | ばく露経路 | 標的臓器 |
|--|-----------------|---------|-------|-------|
| チキソトロピー性添加物 | 皮膚感作性 | 区分1 | | |
| エチレングリコール | 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 | 区分2 | 経口 | 腎臓 |
| 酸化チタン | 分類の必要なし | | | |
| ポリエチレン | 分類の必要なし | | | |
| ポリグリコールジオクタノエート | 分類の必要なし | | | |
| ポリグリコールジメタクリレート | 分類の必要なし | | | |
| 芳香族メタクリレートエステル | 分類の必要なし | | | |
| シリカ | 分類の必要なし | | | |
| クメン | 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 | 区分3 | | 気道刺激性 |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 区分1 | | |
| キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) | 急性毒性 | 区分4 | 経口 | |
| | 急性毒性 | 区分3 | 吸入 | |
| | 急性毒性 | 区分4 | 経皮 | |
| | 皮膚腐食性 | 区分1B | | |
| | 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 | 区分2 | | |

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

経口毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

吸入毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 5 mg/l
ばく露時間: 4 h
試験環境: 粉塵
方法: 評価計算

経皮毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

1 2. 環境影響情報

| 成分 | 危険有害性クラス | 危険有害性区分 |
|--|--------------|---------|
| チキソトロピー性添加物 | 水生環境有害性(急性) | 区分2 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分2 |
| フルオロポリマー | 水生環境有害性(急性) | 区分3 |
| サッカリン | 水生環境有害性(急性) | 区分3 |
| クメン | 水生環境有害性(急性) | 区分2 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分2 |
| キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) | 水生環境有害性(急性) | 区分2 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分2 |

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

1 4. 輸送上の注意

一般情報

RID, ADR, ADN, IMDG, IATA-DGR において危険品ではない。

1 5. 適用法令

労安法 :
名称等を通知すべき有害物
エチレングリコール
酸化チタン
シリカ
クメン

消防法
指定可燃物

毒劇物法 :
該当しない

PRTR 法 :
該当しない

16. その他の情報

発行日: 29.09.2016

問い合わせ先: 近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意: この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

SDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-1771